GAH NEWS

荒川区民総幸福度
GAH-Gross Arakawa Happiness

RILAC
No.12
平成24年5月
公益財団法人
荒川区自治総合研究所

写真：荒川区の震災訓練の様子 （左）要介護者の避難を援助する「おんぶ作戦」
（右上）D級ポンプによる放水訓練、（右下）バケツリレーによる消火訓練

平成22年5月 刊行

荒川区民総幸福度（GAH）とは

荒川区民の幸福度指標のこと。荒川区では、区民の皆さんの幸福度を数値化し、区政の指標とするため、現在、調査研究を進めています。

荒川区自治総合研究所の本「RILACライブラリー」

←GAHに関する本『あたたかい地域社会を築くための指標』（荒川区自治総合研究所編）第二版

子どもの貧困・社会排除問題に関する本『子どもの未来を守る』（荒川区自治総合研究所編）→

全国の書店で絶賛発売中です！

平成23年11月 刊行

本号では、荒川区の地域力についてお知らせします。

荒川区における地域のつながり――「地域力」

「無縁社会」という言葉が平成22年の新語・流行語大賞にノミネートされ、注目を集めました。この流行語に象徴されるように、近年、少子高齢化などの影響から、全国各地において地域社会での人と人とのつながりが弱まってきていると指摘されています。その影響は孤独死や犯罪抑止力の低下といった社会問題にまで及んでいます。しかし、昨年の東日本大震災後の復興活動に際して多くの人が実感したという「絆」という言葉に象徴されるように、地域のつながりや助け合いの力は、人々の心の支えとなって日々の生活に安心感を与えてくれるのではないでしょうか。

（被災地支援を行う荒川区災害対策協力車輌）

荒川区自治総合研究所では、平成23年度に「地域力研究会」を立ち上げ、区の地域力の調査研究を進めています。荒川区には、下町人情に支えられた地域の絆の強さ、先人から受け継いだ区の財産である地域力が今なおしっかりと受け継がれています。そして地域社会を支えてきた町会・自治会の活動を中心に、地域の連携による防犯防災活動や高齢者の見守り、またお祭りなどの伝統文化活動を通じた地域交流などが今日も活発に行われています。

震災復興の教訓から学んだように、人と人とがたしかにつながっているという実感は、災害時だけでなく日常生活においても、人間に大きな安心と幸福をもたらしてくれるのではないでしょうか。「幸福実感都市あらかわ」の実現を目指し、荒川区の誇りである地域力をさらに強いものとし、次代に継承していきながら、笑顔にあふれたあたたかい地域社会を区民の皆様と共に築いていきたいと考えております。

今後も当研究所では、地域力を高め、それによってもたらされる荒川区民総幸福度(GAH)の向上について、研究を進めてまいります。区民の皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

※荒川区民総幸福度(GAH)に関する研究プロジェクト中間報告書は当研究所(区役所北庁舎3階)、区立図書館、区民事務所、情報提供コーナー（区役所本庁舎2階）で閲覧できるほか、当研究所ホームページ（http://www.rilac.or.jp/）でご覧になれます。

GAH Gross Arakawa Happiness

編集発行　公益財団法人荒川区自治総合研究所

〒116-0002　東京都荒川区荒川2-11-1
TEL：03-3802-4861　FAX：03-3802-2592

URL：http://www.rilac.or.jp/
info@rilac.or.jp

編集部より

本紙では、荒川区民総幸福度に関する最新動向やニュース等をお届けしていきます。左記のメールアドレスまで、ご意見・ご感想等をお寄せいただければ幸いです。

荒川区自治総合研究所は、荒川区が抱える課題等について、多角的かつ中長期的な視点に立って調査研究を行い、区に政策提言等を行うことを目的として平成21年10月に設立された機関です。